きのこ発見 自由研究ツアー

松家英彦

7月29日（土）に表題のツアーがありました。講師は慶應義塾大学生物学教室の糟谷准教授と同研究室三年生の和田さん、また、8家族21人が参加されました。

午前中は、猿田神社元宮の森できのこを採取。初めに糟谷先生から、きのこは植物でも動物でもない菌類であり、枯れ木や木の周りの根の近くで生育し、朽ちた樹木を分解して土に戻す重要な役割を果たしている、との説明がありました。森に入って糟谷先生からきのこの採取の仕方を説明してもらった子供たちは木々に生えた色々なきのこを見つけました。

午後は銚子ジオパーク・芸術センターの理科実験室で、先生から採取したきのこの名前を聞き、標本カードを作りました。また、子供たちは採取した色々なきのこを顕微鏡で観察しました。髪の毛のようなムラサキホコリは、きのこですが胞子から成長後に動物に変化する変わりもの。昨年千葉県で初めて猿田神社で発見されたコガネカワラタケ、カブトムシや桜餅の匂いのするきのこなど子供たちは先生の説明に聞き入っていました。森に分け入って自分で見つけて、触れて、そして、観察するというきのことの遭遇は、子供たちの自然に対する接し方に大きな影響を与えたと思いました。

きのこ採取方を説明する糟谷先生　枠内：見つけたきのこ

「親子で夏の自由研究ツアー：蜃気楼を観察しよう！」

小玉　健次郎

「親子で夏の自由研究ツアー　蜃気楼を観察しよう！」が、千葉県立中央博物館の大木淳一先生を講師に迎え7月30日(日)に開催されました。参加者は5家族16名、事務局1名、市民の会2名でした。

午前中は銚子ジオパーク・芸術センター2階理科実験室で、空が下側に反転して遠景が浮いて見える下位蜃気楼と、遠景が上に伸び上がったり、船が上側に反転して見える上位蜃気楼の発生理由について勉強しました。上位蜃気楼は、最近、多くの場所から観測報告がなされるようになり、九十九里浜は観測の好適地になったそうです。銚子の洋上風力発電塔が格好の観測対象になっているので、銚子からも上位蜃気楼の観測報告が出るのを期待しているとのことです。濃度の高い砂糖水の上に砂糖を含まない水を重ねて、横から反対側に置いたおもちゃを透かして見る実験をしたり、似たような濃度勾配を持つ塩水槽で、レーザー光線が下に曲がる観察（写真1）もしました。

上位蜃気楼発生理由の観察

午後は、「いいおかみなと公園」に出かけて、九十九里浜の遠景を観察しましたが、風速8m位の風が強く吹いていたためか、上位蜃気楼を見ることはできませんでした。「銚子で上位蜃気楼を観察し隊！」にぜひ参加してほしいとのことです。

（登録のお願い）

千葉県の九十九里浜は、珍しい上位蜃気楼がよく観察できる地域です。

しかし、銚子地域では上位蜃気楼の観察報告はまだありません。

「銚子で上位蜃気楼を観察し隊！」は千葉県立中央博物館の大木淳一先生の協力のもと銚子での上位蜃気楼の観察を目指し活動しています。

左のフォームに登録いただくと九十九里浜で銚子方面に上位蜃気楼が観察された場合メールでご連絡します。その際、銚子でどのように蜃気楼が見えるか、皆様のご協力で調べていきます。ご協力よろしくお願いいたします。☜QRコードを開いてみてください。

銚子で上位蜃気楼を観察し隊登録フォーム

話題　夕刻の屏風ケ浦に出現するなぞの影

宗　真理子

数日前、友人が屏風ケ浦でなぞの影を発見。犬岩の影がと、思ったそうです。

検証すべく、友人が見た時間に合わせて確認。

遊歩道入り口から1分ほど歩くと、右手に犬岩とは犬種の異なる犬と遭遇。影の正体は、崖の窪みでした。

友人達に写真を見せると、犬どころか、色々な動物に見えるようで、例えば犬、猫、岩に乗っている猫、悪魔の後ろ姿、ピカチュウ等、屏風ケ浦に出現する影は、ご自分の好きなモノになるようです。私には漫画の「犬夜叉」に見える。**見学は影なので時間帯にご注意を！**

あなたは何に見える？